

## ～平成29年9月議会定例会冒頭挨拶～（H29.9.4）

平成29年第4回大町町議会定例会を召集しましたところ、議員の皆様には、残暑厳しき折、何かとご多用の中ご参集賜り、厚くお礼を申し上げます。

先日は、暑い中、そして、公私ご多忙の中、大町町消防団夏季訓練に、団員激励のために、ご出席いただきましたこと、この場を借りてお礼申し上げます。団員におかれても、町民の生命財産を守るという使命と崇高な消防精神の下、汗だくになりながら、訓練に励まれておりましたが、議員の皆様方の激励が良い力水になったことと察するところでございます。

近年は、地震、台風、大雨、それに伴う土砂災害など、私たちが暮らす日本は自然災害の多い、世界有数の災害大国だということに改めて気づかされます。

昨年の熊本地震や、岩手県・北海道を襲った迷走台風、そして今年も、7月には九州北部豪雨や台風5号による、甚大な被害が発生をしており、尊い命が奪われ、未だに日常を取り戻せない方々が大勢いらっしゃいます。犠牲になられた方々、そして被災された方々に心からのお悔やみと、お見舞いを申し上げます。次第であります。

災害は、いつどこで発生するかわかりません。災害を無くすことはできませんが、被害を最小限にとどめることはできます。これからも、日ごろの備えを怠ることなく気を引き締め「安心、安全な町づくり」に努めて参る所存でございます。